



4月6日～5月6日展示

狩野派の巨匠たち

—— 継承される洗練の美

2012年4月6日金 — 6月3日日

- 開館時間 = 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ■ 休館日 = 毎週月曜日(ただし4月30日は開館)
- 入館料 = 一般600円 / 高・大生400円(団体20名以上 各100円引)、中学生以下無料(ただし保護者の同伴が必要です)
- * 障害者手帳をお持ちの方は100円引、その介護者1名は無料です
- 講演会 = 5月14日(月)(午後2時～3時30分) 演題「狩野派の絵画史——元信・永徳・探幽を中心に」
- 講師: 宗像晋作(出光美術館学芸員) (予約: 定員120名) * 当日は予約者のみ入館可
- 列品解説 = 第2、第4日曜日(午後2時～、午後3時～)
- 住所 = 〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町2-3 JR門司港駅より徒歩8分(門司港レトロ地区内、レトロ駐車場前)
- * 専用の駐車場がありませんので、当館前の市営駐車場をご利用ください
- 主催 = 出光美術館、出光佐三記念美術館、出光興産、読売新聞社



上/板・桃・海棠図屏風 狩野長信 桃山時代(部分) 下/波濤図屏風 狩野常信 江戸時代(右隻部分) ※会期中、一部展示替えがあります

Masters of the Kanō School — Succession of Refined Esthetics

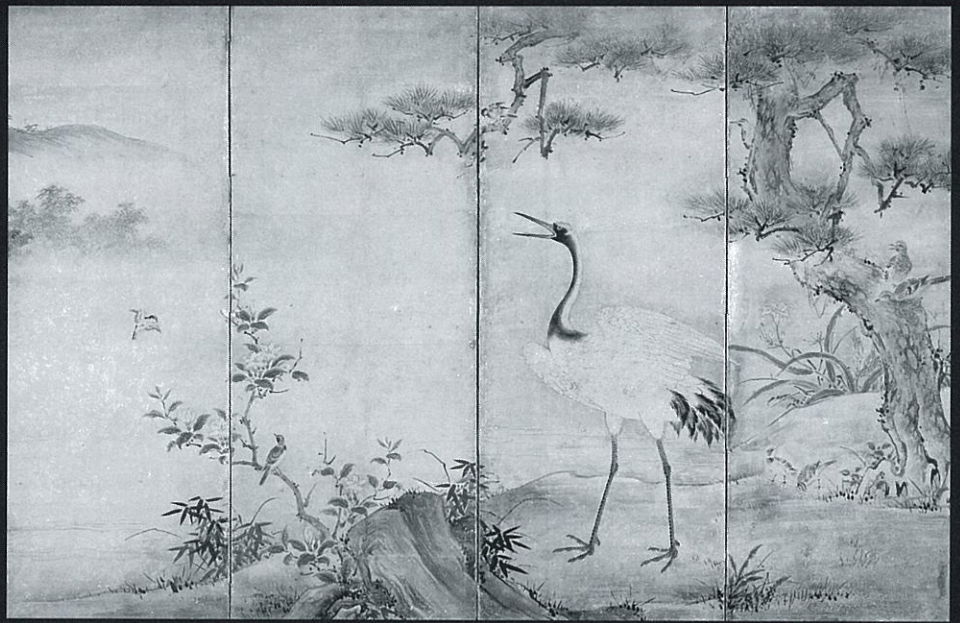


5月8日～6月3日展示

狩野派の巨匠たち — 継承される洗練の美

Masters of the Kanō School — Succession of Refined Esthetics

狩野派は、始祖の正信(1434~1530)が、室町幕府の御用絵師の地位に就任し、次代の元信(1477?~1559)が堅固な流派体制を築いて以来、桃山・江戸時代~幕末明治期まで、日本画壇の中心的存在であり続けた一大画派です。本展では、華麗にして端正な様式美をみせる室町~桃山時代の狩野派作品、さらには京から江戸の地に進出した探幽以降の江戸狩野の瀟洒な花鳥画など、狩野派の洗練された美の世界をご紹介します。



花鳥図屏風 伝 狩野松栄 桃山時代
4月6日~5月6日展示

展覧会スケジュール〈2012.4-2013.3〉

企画展	狩野派の巨匠たち — 継承される洗練の美	2012年4月6日(金)~6月3日(日)
企画展	利休と桃山茶陶	2012年6月8日(金)~8月26日(日)
企画展	古筆と和歌	2012年8月31日(金)~10月14日(日)
企画展	古染付と祥瑞 — 日本人の愛した(青)の茶陶	2012年10月19日(金)~2013年1月14日(月・祝)
企画展	中国美術入門	2013年1月19日(土)~3月31日(日)

厳しい戦乱の世に開花した千利休の美学は、人と作品と空間とが、見事に融和した新しい世界観を示すものでした。美の価値とは、人それぞれの見方によって様々に変化します。そうした中にも、日本人のこころを貫通する、普遍なる美が存在することを、彼は探究しました。本展では、利休の活躍した時代にスポットをあて、日本美の特質に迫ります。徳川家伝来の利休書状「菊水の文」と「古天明菊水釜」は初公開。このほか、桃山茶陶の名品や長谷川等伯の描いた屏風の秀作を一堂に展覧します。生き生きとした桃山時代の息吹を、どうぞご堪能ください。

「古筆(こひつ)」は、近世までに書写された写本類の総称ですが、中でも和歌集を中心とした仮名書の多いテキストを指して用いられます。近世に入る頃、和歌を記した仮名書や料紙の美しい古筆は断簡に分割され始めます。この断簡が古筆切(こひつぎれ)です。本展では、古筆の本来の形である卷子本や冊子本、古筆切を収納するために発達した手鑑(てかがみ)、歌切(歌集の古筆切)の掛け軸と、様々な鑑賞形態の古筆や和歌関連の作品を展示します。

中国の景德鎮のやきものは、常に周辺諸国から求められましたが、それは他の追随を許さない高度な技術や品質に対する一方的な憧れによるものでした。これに対して、明末天啓時代の「古染付(こそめつけ)」と崇禎時代の「祥瑞(しょうずい)」は、日本人の美意識と好みに、器形や意匠がしっかりと合い、陶工と心まで通い合って制作・請来されたかのような特別な一群で、茶陶として愛でられています。心とませる明末景德鎮青花(染付)を出光コレクションよりお楽しみください。

日本美術の源流の一つとして私たちにとても馴染みの深い中国美術。しかし、書画はともかく、工芸作品はちょっと難解でよくわからないといわれる方も多いのではないのでしょうか。そこで、本展では代表的な古代の青銅器や玉器、漆器や陶器を出光コレクションから厳選し、これらの作品を鑑賞するにあたってのポイントをご紹介しますとともに、それぞれの作品に示された当時の技巧のすばらしさを堪能していただきたいと思います。



【交通】JR門司港駅より徒歩8分
(門司港レトロ地区内、レトロ駐車場前)

※北九州銀行レトロラインは
3月19日(土)より運行開始
原則 土・日・祝日の運行

出光美術館(門司)

〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町2-3

【TEL】093・332・0251

【開館時間】午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日

(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)

年末年始(2012.12.28~2013.1.3)および展示替期間

【入館料】一般600円/高・大生400円(団体20名以上 各100円引)

中学生以下無料(ただし保護者の同伴が必要です)

* 障害者手帳をお持ちの方は100円引、その介護者1名は無料です

【URL】<http://www.idemitsu.co.jp/museum>

Idemitsu Museum of Arts, Moji

2-3, Higashi-minatomachi, Moji-ku, Kitakyūshū-shi,
Fukuoka, 801-0853

【Tel】093・332・0251

【Open】10:00a.m.—5:00p.m.(Entrance Until 4:30p.m.)

【Closed】Monday

(The museum will be open when Monday is a national holiday.),
the year-end and New Year's holidays,
and for change of exhibits.

【Admission】

Adults ¥600/High School & University Students ¥400
(Groups (20 or more) ¥100 Discount)

* ¥100 Discount for Persons with Disability
(with Presentation of the Physical Disability Certificate
and Free Admission for 1 Caretaker).

【URL】<http://www.idemitsu.co.jp/museum>